



リーディング・スキルフォーラム 「AI時代に求められる読解力」

戸田市教育委員会



1



戸田市が目指すのは・・・

すべての生徒が
中学校卒業段階で、
教科書を正しく読める
ようにすること。

2



平成29年度 全国学力・学習状況調査結果【戸田市】

		小学校6年生				中学校3年生			
		戸田市	全国上位県	全国	埼玉県	戸田市	全国上位県	全国	埼玉県
国語	A	77	80	74.8	75	78	82	77.4	76
	B	58	64	57.5	57	73	78	72.2	72
算数・数学	A	80	84	78.6	76	68	68	64.6	63
	B	47	50	45.9	45	51	52	48.1	48

4



しかし、
とだっ子が、**変化が激しく**
将来の予測が困難な時代に、
自分の人生を
切り拓くためには・・・

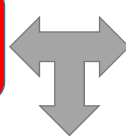
5



とだっ子に身に付けさせたい能力

人工知能(AI)では
代替できない能力

人工知能(AI)を
使いこなす能力



汎用的スキル

各教科で学んだ力を
実社会の様々な場面で
活用できる能力

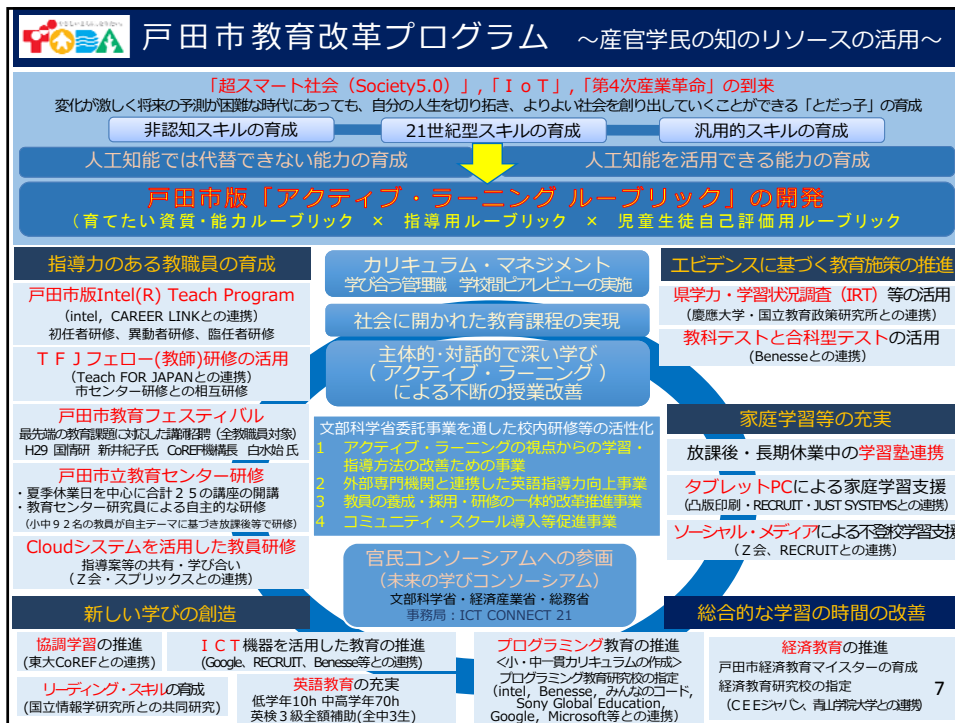
21世紀型スキル

- ・批判的思考力
- ・問題解決力
- ・企画力
- ・コミュニケーションスキル
- ・プレゼンテーションスキル

非認知スキル

- ・粘り強さ
- ・やり抜く力
- ・協調性
- ・自制心

6



戸田市 P E E R プログラムの開発

グローバル化や情報化が進む変化が激しい未来社会の中で生き抜いていく力をとだっ子に身に付けさせるため、単なる知識の詰め込みではなく、産官学民との連携により、問題解決能力や思考力、コミュニケーション能力等の「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知スキル」を小中一貫した教育プログラムによって育成します。

PEERとは「仲間」や「見つめる」ことを意味し、小・中学校がそれぞれに教育活動を行うのではなく、小・中学校9年間の学びと育ちの連続性を重視する観点から、お互いを「仲間」として「見つめ合う」ことが肝要との思いを込めています。

Programming (プログラミング教育)

平成32年度から小学校に導入されるプログラミング教育にベネッセ、インテル、Google、Microsoft等の企業と連携し、全国に先駆けて取り組んでいます。低学年からでも体感的に学べるロボットを活用し、高学年では本格的なコード入力によるプログラミングも通じて、「プログラミング的思考」と呼ばれる論理的に考える力を育みます。




English (英語教育)

特区認可を受けて小学校1年生から英語教育を展開しています。全小・中学校には外国語指導助手 (ALT) が常駐し、日常的な異文化コミュニケーションの機会にも恵まれています。また、青山学院大学と連携して教員の英語指導力向上にも努め、「小中9年間の英語学習の総まとめ」として英検の資格取得を推進 (費用の全額助成、土曜日の特別対策講座) しています。




Economic Education (経済教育)

難解な経済学や経営学とは異なって、「社会の仕組み」や「経済の働き」について身近な題材を通して体験的に学び、よりよい生き方について考えるものです。一般社団法人CEEジャパンと連携し、経済教育の本場米国から大学教授を招くなど、児童生徒に「考える習慣」を身に付けさせ、「質の高い選択ができる力」を育みます。

Reading Skills (リーディング・スキル)

「ロボットは東大に入れるか？」で有名な国立情報学研究所の新井紀子教授と連携し、リーディング・スキル (基礎的な読む力) についての調査・研究を進めています。リーディング・スキルと学力との関係についての分析を進め、それらを効果的に向上させる指導法の開発など、汎用的スキルである読解力を高めていきます。

8



1 戸田市におけるRST 受検状況について

9



1-1 受検の動機について

- 「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知スキル」の3つのスキルを、あらゆる教育活動を通して育成していく。
- RSは、これらの3つのスキルを支える基礎的なスキルになるものとする。

<教育活動の例>

- ・ アクティブ・ラーニングの視点からの授業
- ・ タブレットPCや様々なICT機器を活用して意見交換や討論をしたり、プレゼンテーションしたりする授業。

10



1 - 2 受検状況について

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校 6年	未実施	975名	1226名
中学校 1年	未実施	945名	1107名
中学校 2年	203名	807名	1076名
中学校 3年	144名	801名	1115名

- ・戸田市では、小学校6年、中学校1～3学年で実施。
- ・平成27年度は、各中学校1クラスを抽出して実施。
- ・平成28年度は、各小中学校複数クラスを抽出して実施。
- ・平成29年度は、**全ての児童生徒**が受検している。

11



2 RS向上に向けた 戸田市の取り組み

12



2-1 RS向上に向けた取り組み①

研究員による問題作成を通じた研修

Reading Skill Test 問題作成研修会

参加者(センター研究員:自主的な勉強会)

H27...約50名 H28...約90名 参加



13



2-2 RS向上に向けた取り組み②

学力調査の誤答分析を通じた授業設計

「リーディング・スキル」向上のための授業づくり研修会

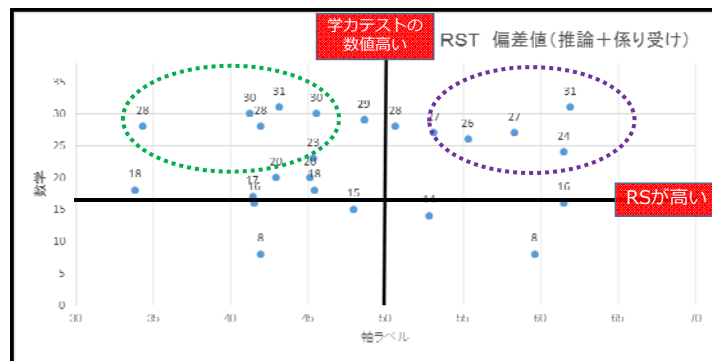
- 国立情報学研究所 菅原真悟 先生による結果分析
- 各種学力調査(国語、社会、算数・数学、理科)の誤答分析
- 誤答の原因をRSの観点から考察



14

H2 8のRST結果分析

- 受検結果（係り受けと推論）と学力調査結果をグラフ化。
- 子供たちの実態から、RS向上の手掛かりを探る。



15

RS向上のための取り組みの成果と
学力向上との関係を**エビデンス**に
基づいて明らかにできないか・・・

16



3 埼玉県学力・学習状況調査 を活用した研究・検証

17



3-1 RSTと学力調査とを紐付け

県学力調査と紐付けた経年変化を考察

『埼玉県学力・学習状況調査』とは？

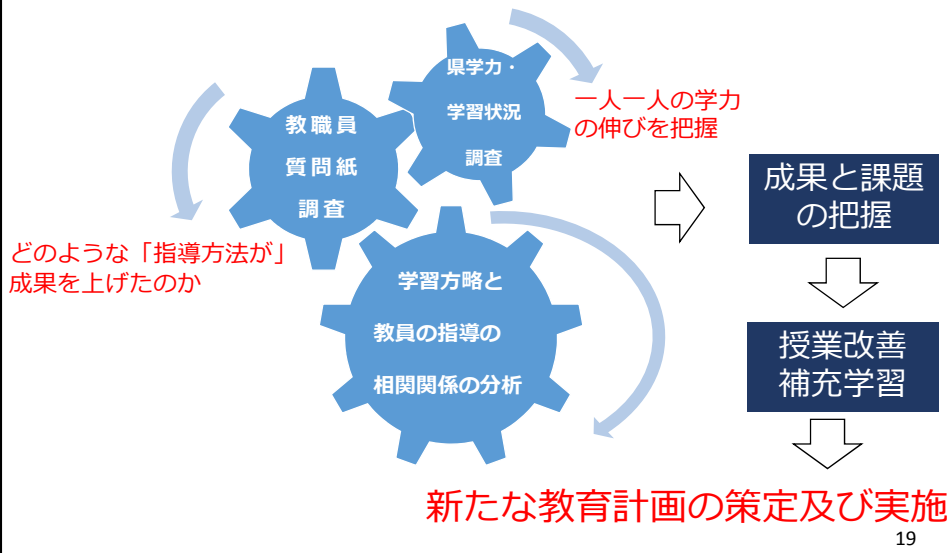
「学習した内容がしっかりと身に付いているか」という今までの調査の視点に、「**一人一人の学力がどれだけ伸びているのか**」という新たな視点を加えた調査（特色：IRT+パネル）。

- 1年間の学力の伸びを数値化
- 小学4年～中学3年生まで各学年で実施
(国語、算数・数学、英語)
- 毎年4月に実施(平成27年～)

18

エビデンスに基づく教育施策の推進

埼玉県学力・学習状況調査（IRT+パネル）等と教員質問紙調査等の分析結果の活用（慶應大学・国立教育政策研究所との連携）



3-2 RSTと学力調査とを紐付け

県学力調査と紐付けた経年変化を考察

教員に向けた指導法に関する質問紙調査

どのような授業（指導法の工夫）が

効果的に学力・RS向上につながるかを調査する。

